

娘と一緒に集合場の公民館に行ってみると、網を持ちたり小さな水槽を持ちたりした子ども達がいっぱい集まり、ワイワイガヤガヤ、みんなが楽しみにしている様子がよくわかりました。最初に講師の先生から「どんな生き物があるか」という説明がありました。その時の話では、松尾でも外来種の小さな貝が繁殖してきて、在来種にどの様な影響があるのか心配している様子でした。

中溝川に向かって十分程行き、係の人たちが用意してくれたハシゴを使って川に入ってみると、ザルですくうたびに、いろんな生き物がどんどん入ってきて子

ども達はもう夢中です。長靴の中に水が入ろうとも関係なく、カエル、ドジョウ、ヤゴ、カニなど数えきれない生き物をつまみ取っていました。土手で待っている保護者も渡される中に珍しい生き物がある事に興奮気味でした。最後までめの時にはヤツメウナギやヨシノボリなど珍しい生き物に驚きの連続で、解散の時まで子どもたちのイキイキとした顔が素晴らしく、楽しみなが興味深く水槽を覗いている様子は最高でした。

この行事の中で新しい松尾を発見する事も出来るので、これからも続けていってほしいと思います。

松尾の川の水中生物をつかまえよう

松尾育成会便り

平成21年度  
第21号  
松尾青少年健全育成会  
広報部

清水 小林 武



私は、初めて松尾の川の水中生物をつかまえようという行事に参加しました。私は、どんな人がくるのかどんな生物が取れるのかなと心がうきうきしていました。

初めは、去年取れた生き物を紹介してもらい、次に川に向かって少し歩いて、いよいよ水中生物探しの始まりです。でも、私は靴だったので川には入らなかつたけど外の人にザルで川の生物をすくってもらいその中から見つけました。私はタニシとなに

松尾の川の水中生物をつかまえよう

小林 鈴

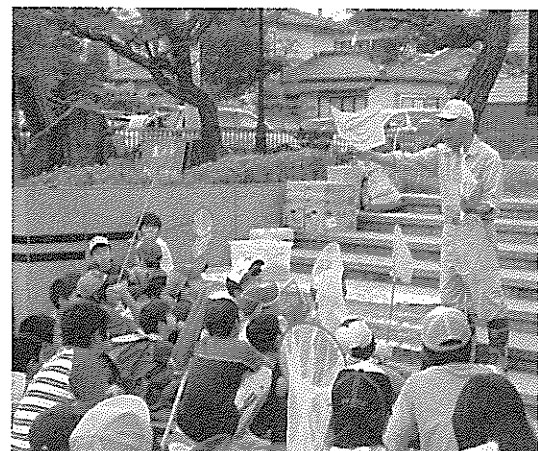
ぼくは、川にいる水中生物といたら、ザリガニやカニくらいしか思いつかなかつたけど、田んぼにいるヤゴやフナや金魚などがいておどろいた。

川には、いろいろな生物がいるんだなと知りました。

また、この川や家の近くの川で水中生物を探したいと思いました。とても楽しかったです。

知らなかつた生物

熊谷 慧人



かの生物とあとホウネエビを外の人からもらい、沢山の生物が取れて、川にもさまざまな命があることがわかりました。

クラブ・教室だより



たり、身の回りのことは全部子供達だけでやらなくてはいけないので、クラブ長や班長が先頭に立って、小さい子供達をひっぱって行く中で、空手以外でも沢山のことを学んでいきます。

子供達一人一人の個性をクラブ活動や稽古でどんどんのびして、一生空手を続けていってもらいたいです。

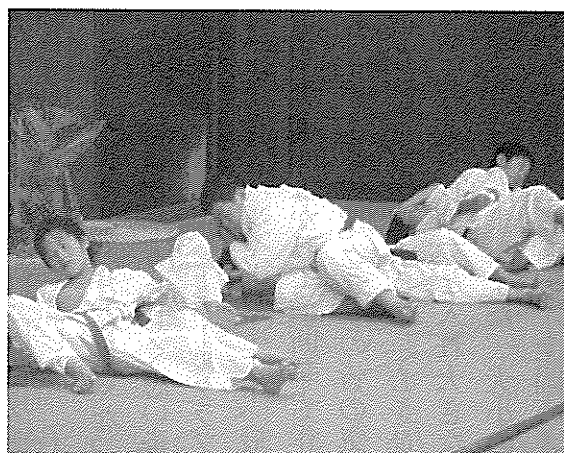
松尾柔道クラブ

関口 徳生

松尾柔道クラブは現在、小学生31名中学生11名、計42名で、活動をしています。稽古は、毎週2回、火・金曜日の夜7時から9時まで松尾柔道場で7名の先生方の熱心な指導のもと汗びっしょりになりながら行っています。

クラブ事業としては、新入部員歓迎会やデイキャンプ、クリスマス会、鏡開き式等、クラブ員同士の交流も深めています。学期末には、日頃の感謝をこめて柔道場の大掃除を行っています。

週2回の稽古、年4回の飯田市武道館で行われる講習会で習得した技や成果を発揮する為、チャンピオン大会南信予選会、辰野で行われるほたる大会、松尾学年別大会まで計6大会に積極的に参加しています。南信予選会では、6名のクラブ員が予選を突破し、県大会へ出場しています。勝って嬉し涙、負けて悔し涙、その悔しさをバネに各



大会、優勝目指し、日々、稽古に取り組んでいきます。

松尾剣道部

剣道の今

松尾剣道部代表 松島 王映

松尾剣道部は、部員数十九名指導者八名で、毎週火・土曜日松尾小学校体育館で、稽古を行っています。毎年、四月から新入部員の募集をしています。現況は入部が少なく、部員数も減少傾向になってきました。剣道は、派手さは無いのですが、礼儀、精神面、高齢者になつても続ける事が出来る武道です。部員数



は少ないのですが、昨年は、飯田地区大会において、小学校高学年団体の部で、準優勝と良い結果がでました。今年は、中学生女子の部で教え子達が、県大会へ進出し、四位と良い結果が出ました。子供達は、一生懸命頑張っている結果が表われていると思います。一つの事に一生懸命打ち込む事と、感謝の気持ち、最後まであきらめず長く続ける事を基本にしています。関係される皆様の御支援をいただき、日々、稽古に頑張っている次第です。

# 「いのち」

公民館長 角田 禎 治



四月より公民館長を仰せつかりました。もとより浅学

菲才、未熟者であります。が区民の皆様のお力添えを頂きながら、一生懸命社会教育活動を行っていききたいと思います。

松尾公民館活動では、専門委員会が四部門あり、体育・文化・広報・企画の委員会がそれぞれ、の事業を行っており、又、学級・講座にても「地域の教育力」を高めるための活動を行っていきます。

先日の七月四日に文化委員の活動として「ブタがいた教室」という映画を上映しました。二百五十名の区民の皆さんが公民館ホールいっぱいになりました。そして鑑賞した方々からは命の大切さ、尊さについて考えさせられる映画として、とても感動したという感想をいただきました。

た。新任教師と二十六人の生徒が挑んだブタを育て「食べる?」「食べない?」を授業の中で、卒業までの一年間真剣に「命と向き合った感動の実話」です。

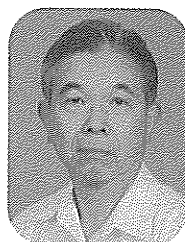
この「Pちゃん」と名づけられたブタは、生徒たちに可愛がられ、飼育していくに従い子供たちの情が移り、家畜ではなくクラスのペットとなつていきます。食べるか、食べないか、飼育のあと子供たちの卒業を控えて出した答えは何であつたか、Pちゃん存在について大論争を行うわけです。

社会問題が山積している今日、青少年の教育・住民の帰属意識の低下・人間関係の絆の希薄化等々、親が子供を子供が親を殺める事件が日常茶飯事に起きている今日、この映画鑑賞は大変タイムリーであつたと思います。今後、公民館は地域自治組織のまちづくり委員会が様々に取り組む活動に教育の側面から関わつて、多くの住民(個)の皆さんと共に考え行つていきたいと思ひます。

# 松尾の子は

松尾で育てる

育成会会長 矢崎 晴 美



四月より松尾地区育成会長を仰せつかりました。もとより未熟者でありますので皆

様方のお力添えをいただき、その責を果して参りたいと思つております。

会長をお引き受けして間もなく、まちづくり委員長から「松尾の子は松尾で育てる」という言葉をいただき、その責の一端を荷わせていただくことの重大さをしみじみと感じました。

六月には「松尾の川の水中生物をつかまよう」が行われ、大勢の子ども達が身仕度勇ましく、持ち物よろしく集まりました。開会式の後早速「中溝川」に行きました。子ども達は学校では見られない様な嬉々とした顔を見せてくれました。解散の会を行つた時には、自分の獲物を自慢気に見せ合い、この行事

## お知らせ

### 今後の育成会事業

(行事部)

十一月 みんなでニュースポーツを楽しもう

二月 松尾地区文化祭

(子供ふれあい広場)

・おもしろ科学教室

(教養部)

あいさつ標語の看板移動

松ぼっくり池の管理

(広報部)

育成会便りの発行

二十二号発行

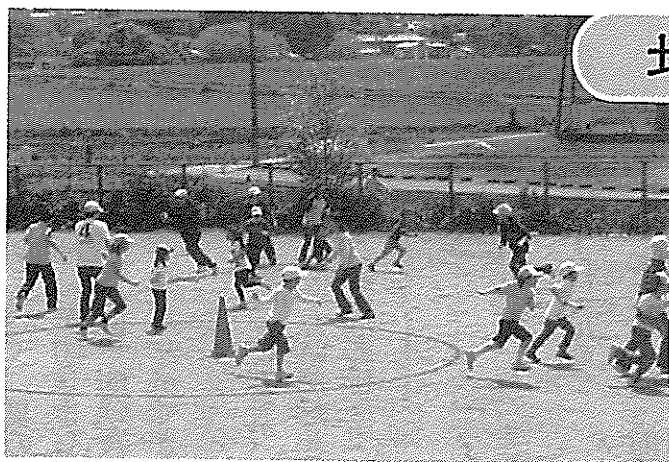
# 清水地区

清水一年生を迎える会

支部長 太田 真 太 郎

5月10日(日)、清水公園で『一年生を迎える会』が開催されました。

4月から地区児童会役員を中心にして6年生で、一年生に喜んでもらえる楽しい会にしようと、レクリエーションの内容や景品の買い物などの準備を



# 地区だより

進めてきました。当日は、晴天に恵まれ、暖かな日差しの中、6年生の司会進行のもと一年生を迎える会がスムーズにでき、緊張している一年生を、お兄さんお姉さん(2年生・6年生)たちが、優しく温かく迎えることが出来ました。レクリエーションは、みんなと一緒に楽しめるゲームを計画し、『宝探しゲーム』『鬼ごっこ大会』『ビンゴ大会』を行いました。

公園に隠してある宝物を夢中になって探す子供達。お父さんお母さんも童心になって清水公園を駆け回った鬼ごっこ大会。わくわくドキドキしながら参加したビンゴゲーム大会。

一年生、お兄さんお姉さん、お父さんお母さん、全員でレクリエーションを楽しむことができました。

地区児童会役員で企画し運営してくれた『一年生を迎える会』は、とても楽しい思い出になりました。

# 最近の交通事情

松尾地区交通安全会会長

木下 寛

六月末現在の飯田警察署管内における交通事故発生状況(概数)と今年の交通事故の特徴は、人身事故件数三三八件で昨年同期比マイナス五二件、死者四名でプラス一名、傷者四二九名でマイナス七〇名、物件事故一九〇三件でマイナス六八件と減少傾向にあります。四名の方の尊い命が失われています。特徴は①高齢者の関わる事故の多発②交差点の事故が五割増加③二輪車事故の二割増加④脇道での出合頭の事故となっています。

先日、赤信号の横断歩道を三人の高齢者が話をしながら走ってくる車の前を横断している光景を目にしました。運転手が気付いて停車してくれたから、大事にならなかつたですが、歩行者も交通ルールを守り交通事故に遭わないで楽しい毎日を過ごすに欲しいものです。

「自分の命は自分で守る」ことを基本に、歩行者も運転者も交通事故を防止するために①安全を第一に考える。目的地に少しでも早く着きたいと焦る気持ちを抑え、まずは安全を最優先して下さい。②自ら危険を回避する。「譲るだろう・行けるだろう・止まるだろう」のだらう運転、だらう歩行はしない。このことを常に頭の片隅に入れておいていただければ交通事故は減少すると思ひます。

交通安全会では①運転中の携帯電話の使用禁止②シートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底③飲酒運転の根絶④自転車の安全利用の推進を訴えて啓発活動を実施することにより一件でも交通事故が減少するよう努力を続けていきたいと考えております。

交通事故を起こしてしまうと加害者も被害者もその家族も悲惨な生活が待ち受けていることを肝に銘じて、今の車社会に順応した毎日を過ごして欲しいと願うものです。



### 新井地区

#### 雨の中の飯ごう炊さん

支部長 森本信太郎

夏休みより一足早く、七月二十五日土曜日に、新井地区では毎年恒例の飯ごう炊さんを行いました。弁天公園に集合し、六つの班に分かれて自分たちのかまどを作り、みんなで協力し合っ

て挑戦しました。保護者のお父さんたちの会、その名も「おやじの会」の皆さんも大勢参加して下さり、アウトドアな一面を披露し大活躍してくれました。特に、火を炊いているまつ最中にどしゃ振りの雨に見舞われ、「火が消えちゃう〜」という女の子たちの叫びに奮い立ったお父さんたち、雨二モマケズ火の番をしてくれたおかげでどの班もみなとてもおいしく炊きました。また、コミュニティセンターでは6年女子がお母さん方のお力を少しだけ借りながらカレー作りにチャレンジ。出来上がったそのカレーと飯ごうで炊いたご飯をみんなでおいしく



いただきました。食事の最中も雨に降られてしまいましたが、これもまたアウトドアの醍醐味ではないでしょうか？

そのあとは、名付けて『キャンドルナイトイン新井！』竹筒にろうそくを立てて明かりを灯す、流行のそれを作りました。と言っても時間の都合上、ほとんどお父さんたちの仕事になってしまいました。たぐさんの竹筒が並び明かりが灯った神秘的な光景に子どもたちはじっと見入っていたのでした。

続いて、6年生が工夫を凝らした肝だめしに絶叫がこだまし、

### 明地区

#### 各地区の奉仕活動

支部長 下平清治

最後に花火大会と続いて、夏のお楽しみイベントは幕を閉じました。みんないきいきとして良い表情で、楽しく過ごすことができました。

最後になってしまいました。保護者の皆様、ご協力いただきましてありがとうございます。

【今時の子供たちはッ！】とついつい自分の子供の頃と比較し、見下してしまいがちな私達ですが……。(反省)

サンコーポラス含む十三地区中九地区で、地区によって日にちは異なりますが、月に一度の『奉仕清掃活動！』を子供達が行っている事を、何人の松尾区民の皆さんがご存じでしょうか？もちろん私達大人も松尾の住民であれば、年に一度や二度は義務と考え、行つてはい



ますが……。私が忘れてしまっているのかもしれませんが、私達が子供の頃は自宅での『お手伝い程度』ならともかく、そういった奉仕活動はしていなかったような気がします。しかも週末休みの一日目の土曜日の早朝に、まだ眠い目をこすりながら一人一人が黙々と地区の皆さんが使用する集会場、公園、お宮、天神様を清掃している姿を見ていたら、居ても立ってもいられなくなり、この育成会だよりに載せた次第です。時代の流れとともに変わっていく、行事、風習、そんな中、子供達の姿を目の当たりにして、ふと、心地よく感じ、感心させられた私でした。

### 八幡地区

#### お楽しみ会

支部長 橋本道広

7月25日、八幡ではお楽しみ会にボーリングを行いました。このボーリング大会は今回で4回目になり、子供達はこの日を楽しみにしています。又保護者の方にも参加をしていただき、親子の親睦会も兼ねています。

当日は10時にボーリング場に集合。はじめの会が終了するとまずはボール選びです。高学年は重さを確かめながら自分に合っ



### クラブ教室だより

#### 「心をひとつに全員バレー」

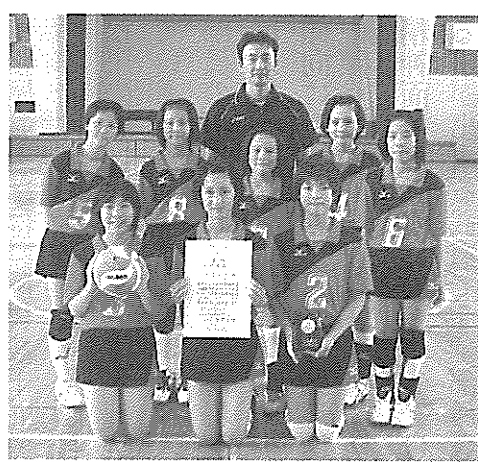
代表 平栗信吾

たボールを探し、低学年はお父さんやお母さんを選んでもらい、いざプレー開始。ストライクをだしてガッツポーズをする子、スペアをだして友達とハイタッチをする子、ガーターに入つて天井を見上げる子、それぞれのレーンからは子供達の歓声が上がっていました。

2ゲームを投げ、おやつをもらって解散となりましたが、みんな楽しんで時間を過ごす事ができました。

四月から始まり大小合わせ四回の公式試合がありました。飯伊地区の大会では第二位の成績を納めることが出来ました。又、飯田市主催の中央道沿線大会では、優勝することが出来ました。

他地区との練習試合等も数多く行うことが出来ております。七月には、



夏季合宿を行いました。今年始めてお寺様に行き座禅に挑戦しました。とても良い経験をしたと思います。又、八月の始めに、岐阜の大会に参加することが出来、泊りで行つて来ました。子供達の成長もどんどん良くなつて行くのが見えてうれしく思います。今期は松尾バレーボールクラブのチームTシャツやトレーナー、最近、出来たばかりで横断幕も作りました。松尾クラブの皆の気持ちを持ち出すように「心をひとつに全員バレー」と入れ大きな横断幕です。まだまだ、大小の公式大会が続きます。全国めざして、頑張りたいと思います。

それが子供たちの夢ですから……。

### 松尾少年空手クラブ

指導者 牧内義治

松尾少年空手クラブは、小学一年生から中学二年生まで、20人の生徒が稽古に励んでいます。稽古内容は、基本・形・組手とあります。始めはまわりの先輩たちの動きを見て、まねをしなから、段々に覚えていき、それから、先生に教わりながら、自分にあつた、空手をやっています。

松尾少年空手クラブは、クラブ長、副クラブ長、班長、副班長、班員とあり、先輩が後輩のめんどろを見て、後輩は、先輩の言うことを聞くという縦社会があり、道衣のたたみ方や、あいさつの仕方、そうじ、さまざまなおこなうことを、みんなで、力を合わせてやっています。

クラブ活動は、新入生歓迎会、クラブ長選挙、夏の合宿、遠足、稽古始め、稽古納めなどさまざま。また、行事があり、その中でも、夏合宿は、自分達で、ご飯を作っ